

(課題名:単眼カメラと走行ルート of 位置情報把握による交通安全の事業化)

(研究開発機関:ジェネクスト株式会社/事業化支援機関:合同会社SARR)

補助事業の成果の概要

技術開発課題の概要

- 単眼カメラによる距離計測とGPS位置情報を独自の地図データと照合することで、車両ごとの道路交通法違反の状況を網羅的かつ正確に把握する技術を開発。

I-Challenge! における成果

- 単眼カメラを用いた距離・角度自動計測システムを開発し、道路交通法違反に係る映像鑑定を短時間かつ高精度に実現。
- 準天頂衛星システム「みちびき」の高精度位置情報を利用した道路交通法遵守「見える化」システムを開発。事故削減・保険料削減・コンプライアンス遵守を促す交通安全サービスの提供を開始。

事業化支援機関からのコメント（支援を行うことを決めたポイント、行った支援等）

- 走行車両の位置特定を交通ルール等制限情報を地図上にマッピングし、これとGPSを併せて行うというのは画期的でかつ現在の技術でも極めて精度が高いことを評価。さらに試験期間中に準天頂衛星の情報をいち早く活用、またテレマティクス分野で大手損保との提携を発表するなど進捗は目覚ましい。

交通安全



制限情報をマッピングした地図データ

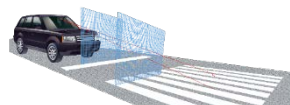
交通事故



交通事故鑑定依頼



みちびき対応GPSロガーで位置情報取得



位置情報を基に距離計測箇所を選定



検出した交通違反情報をWeb上で見える化



ドライブレコーダー映像から事故発生時の距離・角度を自動算出